



チョウチョのお母さんになろう 大野町保育園（石川県金沢市）

【4歳児】


散歩に出かけると、アゲハチョウが飛びかっています。それを見て「チョウチョさん、どこに行くのかなあ？」とA児が言ったことをきっかけに、チョウチョについていたりマップを作ったり…益々興味が深まり、チョウチョにかかわる活動が活発に展開しました。

◆ランチを作ってチョウチョさんと呼ぼう

蝶を追いかけても見失ってしまう。「どうしよう？」「お花のお弁当を作ってあげよう！」ということになる。

<p>疑問 「チョウチョさん何食べるの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> →「葉っぱかな」「お花や蜜やと思う！」 予想 →「アカシヤの木にとまっていたから、アカシヤのお花だと思う」 考え <p>調べる 「ここに書いてあったよ」（蝶のえさが掲載されている図鑑を見る）</p> <ul style="list-style-type: none"> →「やっぱりお花の蜜を吸うんだ」 →「甘いジュースみたいだね」 →「ハチミツを水で混ぜたものも飲むって書いてあるよ」 →「砂糖も水で混ぜるんだって」 <p>確かめる ランチを作る</p> <p>疑問 「来ないね。どうしてかな？」（じっと待つ）</p> <ul style="list-style-type: none"> →「大きな声で呼んだから、しずかに待ってよーっと」 工夫 →「チョウチョさんにバレないようにかくれていよーっと」 工夫 →「早く食べにおいで」「♪早く来てくれるといいな♪」「まだかな」 	 
---	---

◆飼ってみよう

<p>疑問 「どうやって飼えばいいの」「(幼虫は)何を食べるの？」「どんなお家に住むの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> →「チョウチョの幼虫だから、お花やと思う」 予想 →「見つけたときにいた葉っぱじゃない？」 予想 →「どの葉っぱでも食べると思う」 予想 <p>確かめる 飼育箱にそれぞれ思う餌を入れておく</p> <ul style="list-style-type: none"> →「お花は食べてないや」 気付き →「あっ！（カラタチ）の葉っぱ食べた跡があるよ」 気付き →「ほんとだ！穴があいてるもんね」「じゃ、お花は幼虫の餌じゃないね」 気付き 	
--	---

チョウチョのお母さんになろう ↓

「昨日より大きくなったんじゃない」「赤ちゃんからお兄ちゃんになったみたい」「葉っぱがなくなってる」「食いしん坊だね」「たくさんウンチしてるね」

【緑色の五齢幼虫になる】「わ！体の色が変わった」「洋服脱いだんじゃない」「でも脱いだ服はどこにいったの」「落ちてないから食べちゃったんじゃない」「体に目玉のような模様がある」「これが目なのかな？」「ブクブクやわらかい」「オレンジの角が出てきた」「くさーい」

【サナギ→羽化】「すごーい、チョウチョが出てきた」「（動かない）疲れちゃったのかな？」「どうやって脱いだのかな」「チョウチョさんの体、緑色じゃないね」

【蝶を広い蚊帳の中に放す】「うわー！早いね」「羽広げて飛んでるよ」「明るい所にずっといるね」「明るい所が好きなのかな」「暗い所だと、怖いんじゃない？（笑）」「動かないね。寝ているのかな？でも羽広げてるよ」「羽広げて寝るのかな」「ぼくたちと違うね」

◆チョウチョと仲良くなりたいな

どうしたら蝶と仲良くなれるのか考え、蝶に変身することになる。変身するために蝶をよく観察したり図鑑で調べたりする。「ストローみたいな口だ」「鼻はこの角なんだって」「チョウチョさんの目は小さな目がたくさん集まっているんだ」「ぼくたちみたいに白い所ないんだね」「どんな模様かな」などいろいろ気付いたことを言いながら、蝶の変身に必要なものを製作する。作ったものを身に付けて「チョウチョさんとお友達になれるかな」と言い模倣遊びを楽しむ。

みどころ

チョウチョとの出会いを大切に、4歳児がその気になってかかわり楽しめるような展開により、長い期間の飼育や観察でも、その時々疑問や予想、気付きなど様々な言葉が引き出されています。友達になりたいと、蝶に変身するものを製作したことが、更に蝶をよく知りかかわりを楽しむ遊びになりました。